



あなたの未来を守るライフスタイル情報誌

乳酸菌 PRESS 2018 NO.16



INDEX

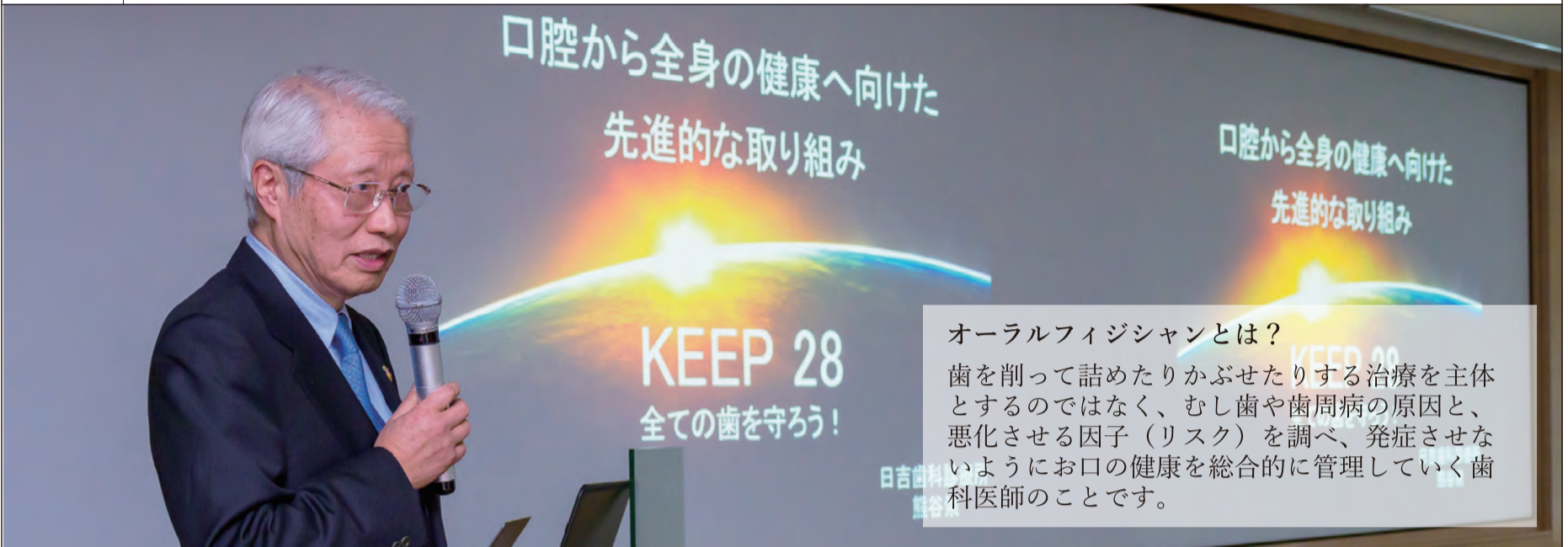
NEWS 01 オーラルフィジシャンセミナー（医と産業の連携講演会）…………… P.1

NEWS 03 乳酸菌 LS1 モデルチームインタビュー…………… P.3

NEWS 02 やまねセンター歯科 理事長 山根 延仁氏 インタビュー…………… P.2

NEWS 04 コイケヤ LS1 ショッピングクーポンサービス導入のお知らせ…………… P.4

NEWS 05 ベルマークのお知らせ…………… P.4



オーラルフィジシャンとは？

歯を削って詰めたりかぶせたりする治療を主体とするのではなく、むし歯や歯周病の原因と、悪化させる因子（リスク）を調べ、発症させないようにお口の健康を総合的に管理していく歯科医師のことです。

「KEEP 28 の達成に向けた歯科医療のイノベーション」について講演された日吉歯科診療所 熊谷 崇 理事長。

積極的予防歯科から、28本の歯を守る「KEEP28」を目指して

「オーラルフィジシャン・セミナー（医と産業の連携講演会）」にて湖池屋が講演を行いました。



湖池屋が予防歯科のシンボルとして発案したマーク「KEEP28」



会場に設置された「乳酸菌 LS1 コーナー」にて、湖池屋社員が多くの歯科医師、歯科衛生士の方々と熱い議論を交わしました。



湖池屋ダイレクトマーケティング部・青島健二。「医と産業の連携」について、市場での歯科に関する正しい知識の欠如、企業からの発信の必要性や大切さを中心に講演を行いました。

湖池屋はKEEP28を推進するオーラルフィジシャンの方々と、今回のセミナーのように生涯にわたって口腔内の健康を維持する価値を追求する活動に参加していきます。そして、「いつまでも楽しく、おいしくお菓子を食べられる健康を」という湖池屋のスローガンを、商品や活動を通して、より多くの方々に伝えていきたいと思っています。



セミナー当日は全国より多数の歯科医師、歯科衛生士の方々が集まりました。

「いつまでも楽しく、おいしくお菓子を食べられる健康を」

「口腔から全身の健康へ向けた先進的な取り組み「KEEP28」」

「皆さんは元々、人間の「歯」が28本である、というところをご存知だったでしょうか？」

「1本の歯の尊さ」は、健康な状態での日常生活では、なかなか気づかないことです。しかし1本、2本と歯を失った時にその尊さを強く実感し、その後の生活において様々な困難が出てきてしまひ、ひいては健康を損なうことが少なくありません。

昨年9月、内閣では「人生100年時代構想推進室」が設けられ、国をあげて「健康寿命の延伸」をテーマとした「人生100年時代構想会議」も既に6回開催されています。人生を「100年」で考える時代、いつまでも28本の歯をいたわり、守ることが大切です。

2018年3月11日、東京・汐留にて「医と産業の連携」をテーマとした「オーラルフィジシャンセミナー」が開催されました。富士通・東京海上日動火災保険・全日空商事・サンスタールなど、様々な業種の企業が、全国各地より集まった歯科医療従事者の方々に、健康経営や企業が期待する歯科医療像などについて講演を行い、企業と歯科が連携することへの目的や必要性、価値を広げていく貴重な場となりました。

Profile

1998年 日本大学歯学部卒業
 卒業後、同大歯学部補綴学教室総義歯補綴学講座を受講
 東京都豊島区の歯科医院に勤務、約5年間院長を務める
 2007年やまねデンタルクリニック開院
 2012年やまねセンター歯科開院
 2017年アメリカ歯周病学会会員

「歯科予防メンテナンスの価値・必要性を考える」

板橋区やまねセンター歯科 理事長 山根 延仁氏 インタビュー

湖池屋は、これまで「乳酸菌PRESS」を通じて、予防・メンテナンスの必要性についてお伝えしてきましたが、「時間」や「費用」などが障壁となり、なかなか本格的に取り組めない方も多いのではないのでしょうか。そんなテーマを考えるにあたって、患者さんとの具体的な事例について、やまねセンター歯科理事長の山根延仁氏にお話を伺いました。

歯科医院での定期的なメンテナンスは、患者さまと医師との相互理解が大切

先日、私の医院に「いまから診てもらいたい」と初診の方がいらっしゃいました。時刻は18:30すぎ。当院の受付は18:30までなので、受付スタッフが代わって直接私が患者さまのご要望をお伺いしました。

「歯のクリーニングをしてほしい。仕事があるので、18:30以降でないと時間が取れなくて...」会社で働いていると、こういった方は多くいらっしゃるのではないのでしょうか？そこで私は、「将来、自分の歯を保つためのクリーニングなのか、今週末に控えている結婚式や面接など、大切なイベントに備えての一時的なクリーニングなのか、どちらですか？」とお伺いしました。医師として患者さまから正確な情報を頂き、本質を捉えた上で適切に診療を行う必要があるからです。



湖池屋さんの「乳酸菌 LS1」は、私たち歯科医師と同じように「お客さまのお口を健康にする」という考え方が一致していたので、取り扱っています。乳酸菌 LS1 はお口の健康に関わることの強力なパートナーですね。安心して患者さまにおすすめています。

その患者さまは「将来に向けて自分の歯を大切にしたいからクリーニングしたい」ということでしたので、私は「だったら、一回のクリーニングだけでではなく、継続して取り組む必要があります。口腔内の状態を検査して、ご家庭での歯の磨き方の指導まで、歯を守るためにしっかりと時間をとるべきですよ。」とお勧めしました。その患者さまには、私のご説明した主旨をご理解いただけたようで、その日は予約だけ取ってお帰りになりました。

私たちは、何十年と自分の歯を保つために適切な医療を提供していますので、歯科医院での検査やメンテナンスの時間は、非常に価値のあるものだと思っています。予約を取っていただいたからには、将来長きに渡って患者さまのお口の健康を保てるよう、責任を持って取り組みたいので、われわれは患者さまが「何をしたいのか」という本質を知っておきたいんです。それに対して、適切な診療やアドバイスをするのが患者さまにとっても良いことだと思うんです。そういった意味でも、継続して歯のメンテナンスを行っていくためには、私たち歯科医師と患者さまとが、お互いに「メンテナンスすること」の意味や価値を相互理解しておくことが一番大切なのではないでしょうか。

文 湖池屋ダイレクトマーケティング部 佐久間 峻





乳酸菌 LS1 オフィシャルパートナー・仙台育英学園 秀光中等教育学校軟式野球部 “勝負の夏”に向けて新たなスタート

惜しくも春の全国制覇ならず

精神的に未熟な中学生にとって、受け入れるのが難しかった監督交代劇。

昨年12月、仙台育英学園内の人事異動で、仙台育英秀光中・須江航監督が高校の硬式野球部監督に就任することが決まった。須江監督から直接報告を受けた選手たちは、その場で泣いた。涙が止まらなかった。そこから数週間、秀光中は指導者不在となり、選手たちだけの練習が続いた。新チーム発足時に掲げたテーマは「自己解決能力を上げる」。選手同士で問題を解決していく。今こそ、それが試されるときだった。

2018年1月、新監督に仙台育英高でキャプテンを務め、甲子園にも出場した小杉勇太新監督が就いた。「プレッシャーしかありません。勝たなきゃいけないというよりは、負けちゃいけない」。そして、秀光中時代から学生コーチとして須江前監督の野球をもっとも近くで見てきた小野寺翔が、コーチに復帰。都内の大学に通っているが、春休みの期間を使って、チームをサポートすることになった。チームの想いはひとつ。

「日本一になって、須江監督に恩返しする」

だが、試練は続く。3月4日の練習で、最速144キロを誇る全国屈指の左腕・笹倉世風(3年)が右足首を骨折。ダブルエースのひとり&四番打者が、離脱することになった。継投と攻撃力に不安を残すなかで、3月24日に「文部科学大臣杯 第9回全日本少年春季軟式野球大会」が開幕した。日本一になるには、3日間で5試合勝ち抜くことが必要だ。

初戦(長崎・佐世保市立大野中)と2回戦(静岡・東海大静岡翔洋中)は、最速141キロを誇る伊藤樹(3年)の快投もあり、ともに2対0で勝利。「ぼくが一番緊張していました」と振り返る伊藤だが、2試合13イニングで1安打、16奪三振、無四球と完璧なピッチングを見せた。



2試合13イニング無失点、被安打1と完璧な投球を見せた伊藤樹(3年)



攻守でチームを引っ張ったキャプテンの島貫丞(3年)



須江前監督時代から続くスローガンは「日本一からの招待」



準々決勝敗退後、夏に向けての巻き返しを誓った小杉新監督



小杉監督(左)、小野寺コーチ(右)の激励に訪れた須江前監督(中)

準々決勝は島根・大田二中。大会規定によって伊藤は登板できず、古川翼(2年)がマウンドにあがった。秀光が先制する展開も7回に追いつかれ、無死満塁から始まるタイブレークへ。表の守りで3点を失うと、その後の反撃及ばずに、2対5で敗れた。

「私の力不足です」と小杉監督が言えば、主将の島貫丞は「打球ばかりを追いすぎて、走路やカバリングなどを評価できる選手が少なかった。今まで大事にしてきた秀光中の野球がでなかつた」と悔し涙を流した。激励に訪れていた須江監督は、「本当に大変な中、ここまでよくやってくれました」とねぎらったあと、「ここから新しい秀光中が誕生します」と前を見据えた。

終わりは始まり。夏の全日本中学(広島開催)での日本一に向けて、新たなスタートを切った。

文・写真 大利実

コイケヤ LS1 ショップ クーポンサービス導入のお知らせ

このたび、LS1 ショップでは定期コースご利用の皆様へのサービスを拡充すべく、LS1 ショップ WEB サイトのマイページよりご利用いただける「定期クーポン」機能を導入いたしました。

<クーポンのご利用方法>

- 1 LS1 ショップの会員ページにログインします。 <https://ls1.koikeya.co.jp/shop/customer/menu.aspx>
- 2 「定期コース申込情報の確認」からご利用中の定期コース情報を呼び出します。
- 3 クーポン利用欄より「利用可能なクーポンを表示」を選択すると現在お持ちのクーポンが表示されます。
- 4 使用したいクーポンを選択します。
- 5 次回お届け時にクーポンが反映され、割引後の価格で商品をお届けします。

【画像付きで利用方法を確認したい方はこちらから】
http://ls1.koikeya.co.jp/shop/pages/coupon_tk.aspx



⚠️ ご注意

会員ページをご利用いただいたことのない方

初回ログイン時にはご登録のメールアドレスとお電話番号にて「パスワードの設定」をしていただく必要がございますので、お手続きをお願いいたします。

メールアドレスのご登録が無い方は、マイページがご利用いただけませんので、ご登録希望のメールアドレスを LS1 ショップ (ls1shop@koikeya.co.jp) までご連絡ください。

ご登録のメールアドレスをお忘れの場合もご連絡いただけましたら確認させていただきますので、お気軽にお問合わせください。



クーポンは今後キャンペーンなどを通じて不定期で発行されます。
 ぜひ会員ページをこまめにチェックしてくださいね♪

乳酸菌LS1は ベルマーク教育助成運動参加商品です

<p>「乳酸菌LS1 SUPER」の 90粒商品は</p> <p>61点</p> 	<p>「乳酸菌LS1 SUPER」の 60粒商品は</p> <p>42点</p> 	<p>「乳酸菌LS1」の 60粒商品は</p> <p>35点</p> 
--	--	--

1pt 「LS1 ポイント」 キャンペーン終了のお知らせ

「LS1 ポイント」キャンペーンはかねてよりご案内しておりましたとおり、4月30日をもって終了いたしました。たくさんのご応募ありがとうございました。

乳酸菌エル・エス・ワンは、湖池屋の特許技術を使用した商品です。(特許第4203855号:乳酸菌を有効成分とする生菌製剤および乳酸菌含有食品)



株式会社 湖池屋

メール ls1shop@koikeya.co.jp

TEL 0120-749-418

FAX 03-3979-2184

コイケヤ LS1 ショップ

検索

<http://ls1.koikeya.co.jp/>